

第15回 次世代を担う有機化学シンポジウム プログラム

発表 15 分，質疑応答 10 分

第1日：5月26日（金）

9:00～9:05 第15回シンポジウム実行委員長 挨拶 栗山 正巳（長崎大院医歯薬）

9:05～10:45 座長：嶋田修之（北里大薬）

1-01 ペプチドフォールドマーによる不斉マイケル付加反応

（¹長崎大院医歯薬，²大阪薬大）○梅野智大¹，上田篤志¹，土井光暢²，田中正一¹

1-02 アシルホスフェイトを用いた効率的な芳香族ケトン合成法の開発

（東大院薬）○澄田明成，尾谷優子，大和田智彦

1-03 ハロゲン結合相互作用によるヨードニウムイリドの活性化を基盤とした酸塩基協同的極性転換型炭素-炭素結合形成反応の開発

（¹京大院薬，²産総研）○斉藤真人¹，小林祐輔¹，都築誠二²，竹本佳司¹

1-04 ヨウ素とシランを用いるアルケン/アルキンの触媒的分子内ヒドロ官能基化反応の開発

（名大院創薬）○藤田将史，澁谷正俊，山本芳彦

* 休 憩 10 分 *

10:55～12:35 座長：植田浩史（東北大院薬）

1-05 スピロシクロプロパンを用いる多置換インドール合成法の開発とアスピドスペルマアルカロイドの合成研究

（富山大院薬）南部寿則，○田村貴史，廣田 渉，矢倉隆之

1-06 Dictyodendrin 類の多様性志向型全合成

（京大院薬）○松岡純平，松田優佳，川田惟樹，大石真也，大野浩章

1-07 三環性ピロリジジノン骨格を有する天然由来生物活性物質の不斉全合成研究

（東京理大薬）○佐野竜太，小菅 亮，羽野里奈子，宮崎拓海，坪郷 哲，内呂拓実

1-08 ポリオキシン類の統一的全合成

（東大院薬）○藤野 遥，長友優典，井上将行

* 昼 食 65 分 （世話人会第3回会議）*

13:40～13:45 日本薬学会化学系薬学部長 挨拶 向 智里（金沢大院医薬保）

13:45～15:25 座長：原田慎吾（千葉大院薬）

1-09 ピリジニウム塩を鍵中間体とする芳香族アルデヒド選択的求核種導入法と応用

（¹岐阜薬大，²阪大院薬）○川尻貴大¹，太田礼伊也²，藤岡弘道²，佐治木弘尚¹，澤間善成¹

1-10 窒素上無保護のケチミンに対する直接的触媒的不斉 Mannich 反応の開発

（九大院薬）○澤 真尚，森崎一宏，近藤優太，森本浩之，大嶋孝志

- 1-11 α -Halo Amides as Competent Latent Enolates: Direct Catalytic Asymmetric Mannich-type Reaction
(微化研) ○Bo Sun, Pandur Venkatesan Balaji, 熊谷直哉, 柴崎正勝
- 1-12 不飽和化合物と炭素求電子剤の触媒的ホウ素導入三成分カップリング反応の開発
(東大院薬) ○伊藤太亮, 清水洋平, 金井 求

* 休 憩 10 分 *

15:35~17:15 座長：清水洋平（東大院薬）

- 1-13 炎症収束性脂質レゾルビン E1 配座制限誘導体の設計と合成
(北大院薬) ○石村航平, 福田 隼, 室本竜太, 平島洸基, 渡邊瑞貴, 松田 正, 周東 智
- 1-14 親水性分子の細胞内導入を志向した細胞膜高透過性ペプチドの開発
(¹国立衛研, ²長崎大学院医歯薬) ○三澤隆史¹, 大岡伸通¹, 大庭 誠², 田中正一²,
内藤幹彦¹, 栗原正明¹, 出水庸介¹
- 1-15 2段階の共有結合形成反応を利用した標的タンパク質修飾法の開発研究
(昭和薬大) ○小島拓之, 伊藤俊将, 山本恵子
- 1-16 共有結合型プロテアソーム阻害剤の創製と作用機構解析
(北大院薬) ○北畑 舜, 市川 聡

* 休 憩 10 分 *

17:25~18:40 座長：大西英博（北大院薬）

- 1-17 アルケンとコバルト触媒を用いるラジカル環化反応の開発
(¹千葉大院薬, ²千葉大 MCRC) ○堀 弘人¹, 荒井 秀^{1,2}, 西田篤司^{1,2}
- 1-18 トリフルルオキシベンザインによる多置換ベンゾジアゼピン類の一段階合成
(阪大院薬) ○金子英樹, 井川貴詞, 赤井周司
- 1-19 共通前駆体からのアライン発生およびアライン-ニッケル錯体調製と複雑芳香環合成への応用
(¹理研ライフサイエンス技術基盤研セ, ²東京医歯大生材研) ○隅田有人¹, 隅田ともえ¹,
細谷孝充^{1,2}

18:50~ 意見交換会（日本薬学会会長井記念館 B2）

第2日：5月27日（土）

9:00～10:40 座長：重永章（徳島大院医歯薬）

2-01 3,3'位置換BINOLエステルにおけるC_{Ar}-O結合を軸とする回転異性体
（名城大薬）○坂井健男，松岡純平，新帯雅之，森 裕二

2-02 Detection and Induction of Cell Death of Cancer Cells by Luminescent Iridium Complexes-Peptide Hybrids
（¹東京理大薬，²東京理大イメージングフロンティアセ）○Abdullah-Al Masum¹，
久松洋介¹，鈴木希美¹，青木 伸^{1,2}

2-03 低分子蛍光性有機化合物の開発とその利用
（¹摂南大薬，²大阪教育大教育）○小川風太¹，武田全功¹，山川 蛍¹，八嶋 徹²，
谷 敬太²，山澤龍治¹，伊藤 潔¹，樽井 敦¹，佐藤和之¹，表 雅章¹

2-04 π電子拡張型キサントレン系ロイコ色素の合成と光物性の評価
（¹岡山大院医歯薬，²理研ライフサイエンス技術基盤研セ）○神野伸一郎^{1,2}，吹野なつみ¹，
高橋みなみ¹，澤田大介^{1,2}

* 休 憩 10 分 *

10:50～12:05 座長：下川淳（名大院創薬）

2-05 アレロパシー活性を示す melleolide の合成研究
（京大院薬）○下田和摩，植田 幹，山田健一，山岡庸介，高須清誠

2-06 (+)-Laurenidificin の構造決定ならびに(-)-Aplysiallene の新規合成法の開発とそのNa⁺/K⁺ ATPase 阻害活性研究
（¹阪大院薬，²北大院歯）○吉川祐介¹，山川真希¹，小林哲也¹，鈴木邦明²，
沖野雄一郎²，村井健一¹，有澤光弘¹，藤岡弘道¹

2-07 18E-リングピアロシドCの触媒的不斉全合成
（¹北大院薬，²ACT-C, JST）○鈴木拓郎¹，棚田文也¹，伊藤元気¹，穴田仁洋¹，
松永茂樹^{1,2}，橋本俊一¹

* 昼 食 70 分 （第5回次世代シンポジウム運営委員会）*

13:15～13:20 第43回反応と合成の進歩シンポジウム 予告 矢倉隆之（富山大院薬）

13:20～13:25 第16回次世代を担う有機化学シンポジウム 予告 井川貴詞（阪大院薬）

13:25～14:40 座長：森本功治（立命館大薬）

2-08 二酸化硫黄等価体を用いる環状スルホンアミドおよびスルフィンアミド類の選択的合成法の開発
（静岡県大薬）○田中寛康，小西英之，眞鍋 敬

- 2-09 Rh ナイトレノイドを用いるスピロアミナール骨格構築と Rh カルベノイドとの反応性の比較
(千葉大院薬) ○河野将人, 原田慎吾, 根本哲宏
- 2-10 ロジウム二核錯体による触媒的位置選択的 C-H アミノ化
(京大化研) ○新井健太, 上田善弘, 川端猛夫

* 休 憩 10 分 *

14:50~16:05 座長：太田浩一朗 (東京薬大薬)

- 2-11 ALK 阻害剤 ASP3026 のプロセス開発
(アステラス製薬(株)) ○高濱佑次, 小櫃和義, 竹口和宏, 織井亮毅, 大東 篤, 家田 成, 岡田 稔
- 2-12 オキシムスルホナートの環拡大反応を用いたインドール合成法の開発と(+)-CC-1065 の全合成
(東北大院薬) ○坂田樹理, 今泉 拓, 山下有美, 岡野健太郎, 徳山英利
- 2-13 パクタマイシンの合成研究
(静岡県大薬) ○稲井 誠, 後藤篤実, 吉村 諭, 中尾祐太, 浅川倫宏, 江木正浩, 濱島義隆, 菅 敏幸

* 休 憩 10 分 *

16:15~17:55 座長：村井健一 (阪大院薬)

- 2-14 触媒制御による位置選択的不斉エポキシ化反応の開発
(¹乙卯研, ²京大化研) ○信田智哉¹, 川端猛夫²
- 2-15 カルコンの転位反応を利用した複素環の新規合成法開発
(近畿大薬) ○中村 光, 田中智士, 今宮彰良, 坂井田楓, 高子怜大, 三木康義, 前川智弘
- 2-16 Rh(I)触媒によるアリルアルコールとアルキン間での分子内不斉環化反応の開発
(北大院薬) ○大西英博, 増崎修一, 根岸 汀, 佐藤美洋
- 2-17 カチオン性金錯体のオートタンデム触媒作用を利用する新規 1,4-ジヒドロピリジン構築法の開発
(¹富山大院薬, ²富山大院理工) ○杉本健士¹, 三浦優佳¹, 柘植清志², 松谷裕二¹

17:55~18:10 優秀発表賞受賞者の発表, 閉会挨拶